# 平成３０年度学校経営計画

呉市立下蒲刈中学校

1　校訓

「自主 自律」

2　学校教育目標

「夢の実現に向け，粘り強く取り組む生徒の育成」

3　ミッション

「この町を愛し，将来は社会に貢献できる人間になるための基礎の育成」

4　ビジョン

「生徒・保護者から信頼され，地域のシンボルとなる学校」

- めざす生徒像　「将来の目標を持って，粘り強く取り組む生徒」
- めざす学校像　「教育目標の実現に向けて協働する学校」
  「保護者・地域から信頼される学校」
- めざす教職員像　「時代の変化に対応する教職員」

5　現状分析

とびしま４島の３中学校で行っている，教師の授業力向上を目的とした「四島授業研究会」の継続により授業改善が進み，生徒の基礎学力の向上に効果が表れている。個に応じた指導を更に充実させるとともに，小中一貫の組織的な取組を進めていくことにより，生徒の更なる学力向上を図っていく必要がある。

固定化した人間関係の中で学校生活を送っているため，自分の思いをうまく相手に伝えることが苦手な生徒が目立つ。生徒は物事にまじめに取り組むので，自分に自信を持ち自己有用感を高めるため，地域人材を招聘した体験活動を工夫する。

体力・運動能力について，特に全身持久力に課題がある。生徒の通学方法は徒歩かバス通学で，運動する機会はほぼ学校生活に限られている。体育の授業や部活動は熱心に行っているので，課題解決のための継続した取組が必要である。

Ⅴ 課題を踏まえた中期経営目標及び短期経営目標（中期経営目標：３年間のうちの２年目）

| 中期経営目標（３年間） | 短期経営目標（今年度） | 目標達成のための方策 |
|---|---|---|
| 【学力向上】<br><br>基礎･基本の確実な定着を図り，将来の目標を持ち，着実に努力する生徒を育成する。 | ○　課題把握に基づいた「教えて考えさせる」授業の手法を定着させる。 | ○　学力調査等から課題を分析し，その課題解決に向けた授業改善を進める。<br>○　１時間の授業において，「本時のめあて」を明確にし，授業の終わりには必ず振り返りをさせ，次の授業に生かすとともに家庭学習にもつなげる。 |
| | ○　教科間のつながりを意識したカリキュラムを作成・実施する。 | ○　中学校区としての生徒に身につけさせたい資質・能力を意識した授業づくりを行う。 |
| | ○　家庭教育の充実を図るため，チャレンジ学習を更に工夫・改善する。 | ○　放課後学習，習熟度別の宿題の提示等，個に応じた指導を徹底する。 |
| | ○　読書活動の充実を図る。 | ○　生徒会の委員会活動の中で，生徒に１ヶ月の読書冊数の目標を持たせる。 |

| 中期経営目標（３年間） | 短期経営目標（今年度） | 目標達成のための方策 |
| --- | --- | --- |
| 【豊かな心の育成】<br><br>社会性を育成するとともに，自主・自律を身に付けさせる。 | ○　「おもてなしの心」を育てる。<br>○　ボランティア活動に，積極的に参加する生徒を育てる。<br>○　小中連携の充実を図り，自主的な活動とリーダーシップの発揮に力点を置き，自尊感情を高め，規範意識を身に付けさせる。 | ○　生徒に小さな成功体験を数多く積み重ねさせ，自己肯定感，自己有用感を高める。<br>○　道徳，特活，総合等の時間を利用して，ボランティア活動が自分をどのように成長させるかを指導する。<br>○　小中連携を充実させ，生徒にリーダーシップをとらせ自信をつけさせる。<br>○　生徒が自主的に活動する機会を増やすとともに，生徒にかかわりきる指導を徹底して，褒めて育てる。<br>○　あいさつの飛び交う学校にするために，教職員が率先して行動する。 |
| 【健やかな体の育成】<br><br>基本的生活習慣を確立させるとともに，健康な体をつくろうとする意識を高める | ○中学校区の体力の課題を克服する<br><br>○食育の推進を図る<br><br>○睡眠の大切さを理解させる | ○　体力・運動能力向上の取組を，全ての部活動で実施する。<br>○　生徒の体力や技術力の向上を図るため，部活動指導者が生徒に積極的に関わり，生徒が自主的に活動できるように育てていく。また，指導内容を創意工夫し，褒めて育てる。<br>○　家庭において，食事や睡眠等，規則正しい生活習慣を確立させる。 |